

人間の安全保障における教育の重要性

教育はすべての人が等しく享受すべき基本的権利です。質の高い教育を受けることで、子ども・若者の一人ひとりが自らの才能と能力を十分に伸ばし、命と暮らしを守り、人びとが尊厳をもって生きることができる社会の基盤を築くという点で、人間の安全保障の実現に大きく貢献するものです。

人間の安全保障のアプローチの実践を通じたJICAの貢献

JICAは、全ての人が教育を受けられる尊厳を守り、人間の安全保障を脅かす様々な課題解決に貢献できる人材育成や、教育を通じた多様な文化や価値を尊重する態度の醸成などを通じて、インクルーシブで持続可能な社会・経済発展を築くことを目指します。人びとを脅威から守るための上からの「保護」と、人びとが脅威への対応のために自らの選択する力を強めるための下からの「エンパワメント」の両方を組み合わせて、質の高い教育を支援しています。

- ・ 子どもが理解しやすい良質な教科書・教材と、子どもの学びを確認して授業を進められるよう教員の教え方を強化することで、子どもの能動的な学びを促進します。また行財政が行き届かない地域では、地域住民と保護者が協働し、学校を主体的に支えることで子どもの学習環境改善に取り組んでいます。
- ・ ジェンダー、障害、紛争等によって学びの機会から取り残されないよう、脆弱層の子ども一人ひとりの教育ニーズを満たすアプローチの開発と、政策・制度の整備を行います。
- ・ 各国の社会経済発展を牽引する高度人材の育成や研究能力の強化を図ることで、人間の安全保障を脅かす様々な課題解決に貢献できる人材育成や新たな知見・技術の創出を行っています。

SDGsへの貢献



SDGsゴール4「質の高い教育をみんなに」、特に以下のターゲットの達成に貢献します。

- 4.1：無償かつ公正で質の高い初等・中等教育
- 4.3：質の高い技術教育・職業教育・高等教育
- 4.5：教育におけるジェンダー格差是正、脆弱層のアクセス改善

事例

全国の子どもが質の高い教育を受けることができ、能動的に学ぶことができる環境を整える

パプアニューギニアでは子どもたちの算数・理科の学力向上を図るため、JICAは日本の企業と協力し、初の国定教科書となる小学校3～6年生の理数教科書と指導書を開発しました。これらの教材は、子どもの能動的な学習を促す内容としたもので、全国の小学校に配布されました。教育のためのグローバルパートナーシップ（GPE）や世界銀行、UNICEFと連携し、小学校1～2年生の算数教科書の開発と全国配布も進めており、全ての子どもが学びの機会から取り残されないよう支援を実施しています。



東ティモールでは、1999年の争乱直後より東ティモール国立大学工学部に対する協力を実施し、同国の人間安全保障に貢献する高度人材の育成と知見創出を支援してきました。詳細は、[リンク](#)（JICAマガジン）よりご覧いただけます。